
●第6回オスマン文書セミナーのご案内

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）では、基幹研究「中東・イスラーム圏における人間移動と多元的社会編成」（代表 黒木英充）の事業の一環として、2013年12月22日（日）と23日（月・祝）に第6回オスマン文書セミナーを開催します。研究上、オスマン朝下で作成されたさまざまな手書きの文書や帳簿を読む必要のある方を中心に、ひろくイスラーム史を研究される方のご参加をお待ちしております。ただしオスマン・トルコ語の授業を行う場では決してありませんのでご注意ください。また、本セミナーはNIHUプログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点との共催となります。

今年度も昨年に引き続いて、我が国におけるカーディー研究の第一人者である千葉大学の秋葉先生を講師にお迎えし、オスマン朝の法廷記録簿とカーディー関係の文書を取りあげます。今回もこれまでと同様、事前にお配りしたコピーを用いて具体的な事例を演習形式で読解していきます。

今年度の第1日目は、基本編として、結婚と離婚に関する法廷記録簿の記録を取りあげます。フルウ離婚やタラクなどオーソドックスなトピックを扱うことを考えています。講読する事例は、昨年同様、18世紀後半のアンカラ、トカト、アインターブの法廷記録簿から選択する予定です。

第2日目は、まず上申文書*ilam*（嘆願）を取りあげますが、この*ilam*は昨年度にとりあげた勅令に対する受領報告ではなく、住民の嘆願を仲介するような（あるいは嘆願書*arzuhal*の添え状）タイプのものであります。事例としては、昨年度同様にシェムダーニーザーデがカーディーとして在任した時の文書（アンカラ・トカト）を取り扱いたいと考えています。そして最後にやはり18世紀後半の法廷記録簿と*Ahkam Defteri*の双方に記録された勅令テキストの例を取りあげます。勅令と言うと、まず枢機勅令簿(*Mühimme Defteri*)が頭に浮かびますが、法廷記録簿に記録されているのは、枢機勅令簿に記録されるような国政にとって重要な勅令だけではありません。

なお昨年反省から、今年度は秋葉先生に2日間にわたって2コマずつ担当いただき、テーマごとに十分な講読の時間をとれるよう配慮いたしました。

なおセミナーへの参加資格として、例年通り次の1.または2.のいずれかにあてはまることを条件といたします。

1. 「現代トルコ語の読解力があり、かつアラビア文字に関する知識を有する」
2. 「ペルシア語あるいはアラビア語の読解力があり、かつ現代トルコ語文法の知識を有する」

参加を希望される方は、お名前、ご所属、連絡先住所・電話番号、メールアドレス、専門分野、セミナー参加可能日程を明記の上（部分参加も可）、下記の申込先まで**12月6日(金)**までに**Eメール**にてご連絡ください。こちらから、セミナーで用いる資料を郵送いたします。なお参加費は無料です。

また、東京近郊以外に在住の方には旅費の支出も検討しておりますが、予算の都合上、旅費支給を希望される方は、なるべく早くその旨お知らせください。

問合わせ・申込先：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画センター事務局

e-mail: fsc_office@aa.tufs.ac.jp (@は半角)

プログラム等の詳細は以下の通りです。

基幹研究「中東・イスラーム圏における人間移動と多元的社会編成」
第6回オスマン文書セミナー

◇主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

◇共催：NIHUプログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点

◇期間：2013年12月22日(日)～23日(月・祝)

◇会場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
3階大会議室(303号室)

(〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1)

<http://www.tufs.ac.jp/access/>

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/about/access>

◇講師 秋葉淳 (千葉大学大学文学部准教授)
高松洋一 (AA研)

◇プログラム

12月22日(日)

14:00-14:15 趣旨説明 講師・自己紹介

14:20-16:00 解説・講読：結婚と離婚 I (秋葉淳)

16:20-18:00 講読：結婚と離婚 II (秋葉淳)

12月23日(月・祝)

10:30-12:10 解説・講読：上申文書 ilam (嘆願) I (秋葉淳)

13:00-14:40 講読：上申文書 ilam (嘆願) II (秋葉淳)

15:00-16:40 講読：法廷記録簿と Ahkam defteri (高松洋一)

17:00-18:00 総合討論